

第33回東海外来小児科学研究会

風邪診療を考える アンケート結果

小児科・耳鼻科・薬剤師

WS-1 風邪診療を考える



このマークに関しては[ここをクリック!](#)

色盲の人にもわかるバリアフリープレゼンテーション法

<http://www.nig.ac.jp/color/gen/>

どちらも強度第1色盲の

[岡部正隆](#)

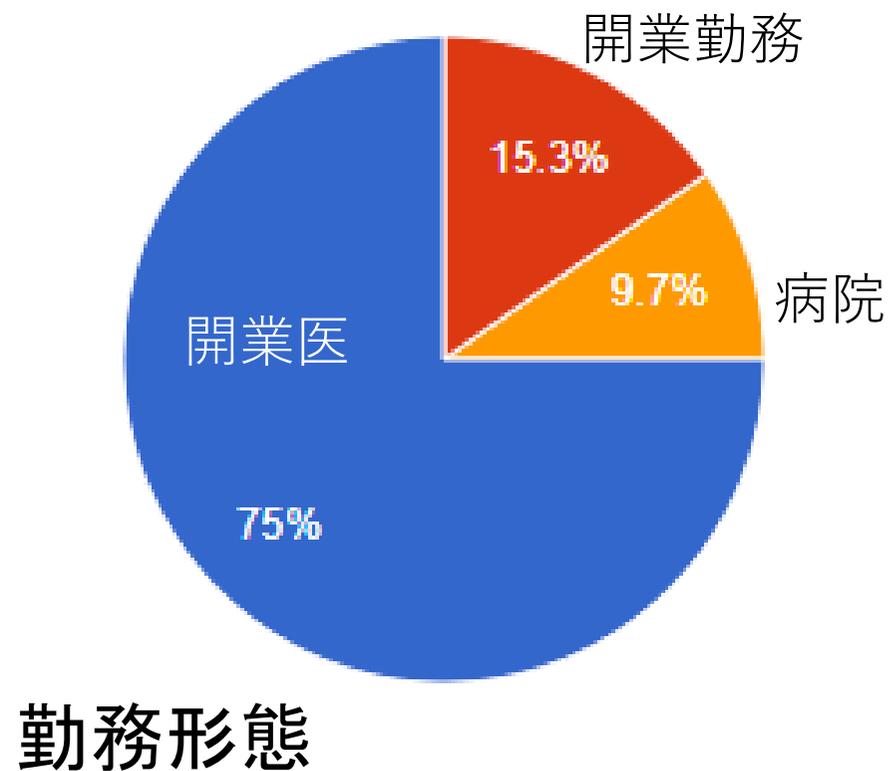
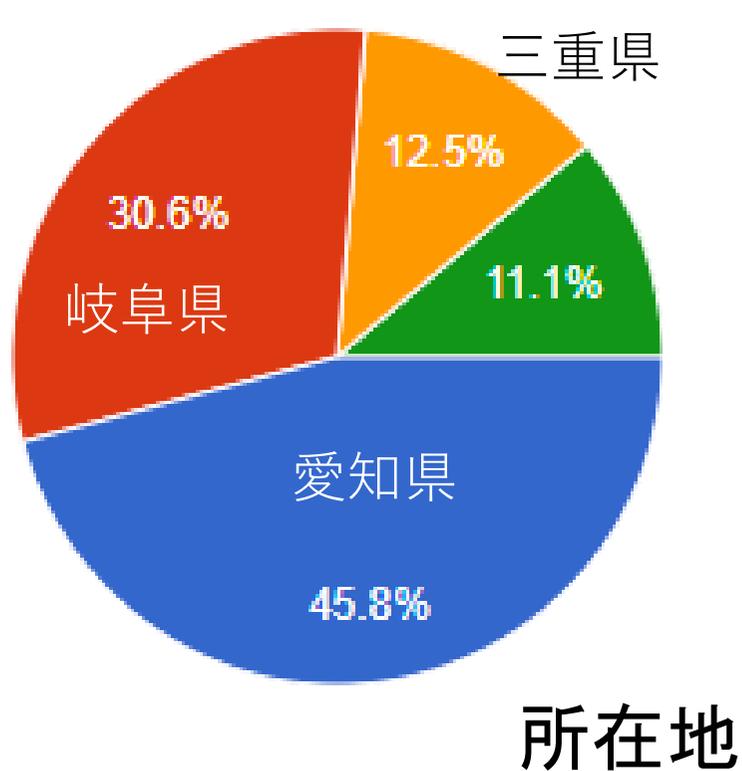
東京慈恵会医科大学DNA医学研究所

[伊藤啓](#)

東京大学分子細胞生物学研究所

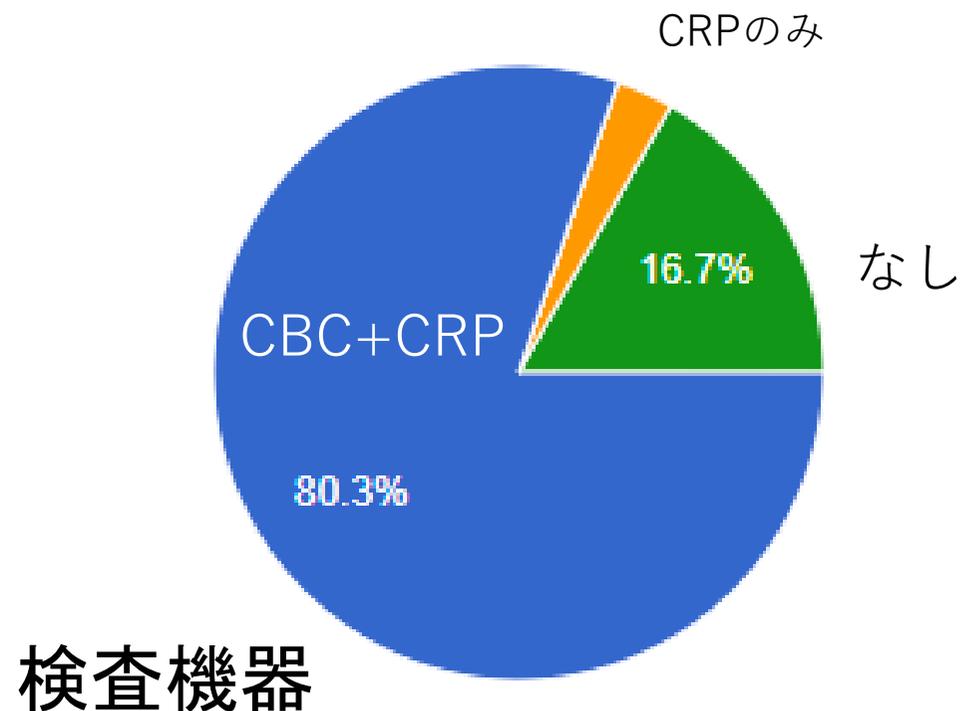
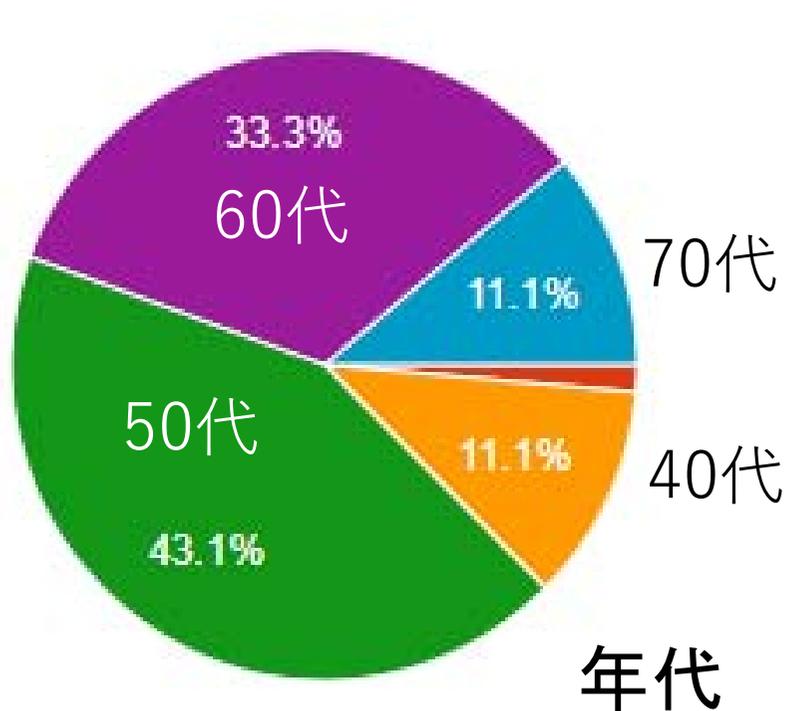
WS参加者の背景(小児科・内科)

アンケート回答 小児科62 内科11



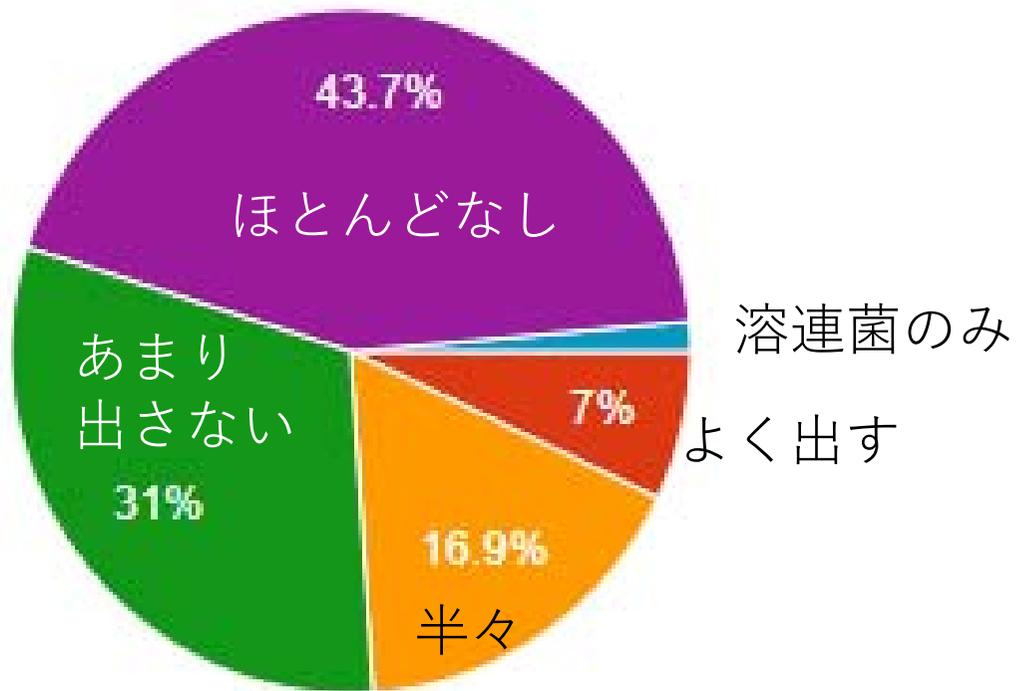
WS参加者の背景(小児科・内科)

アンケート回答 小児科 6 2 内科 1 1



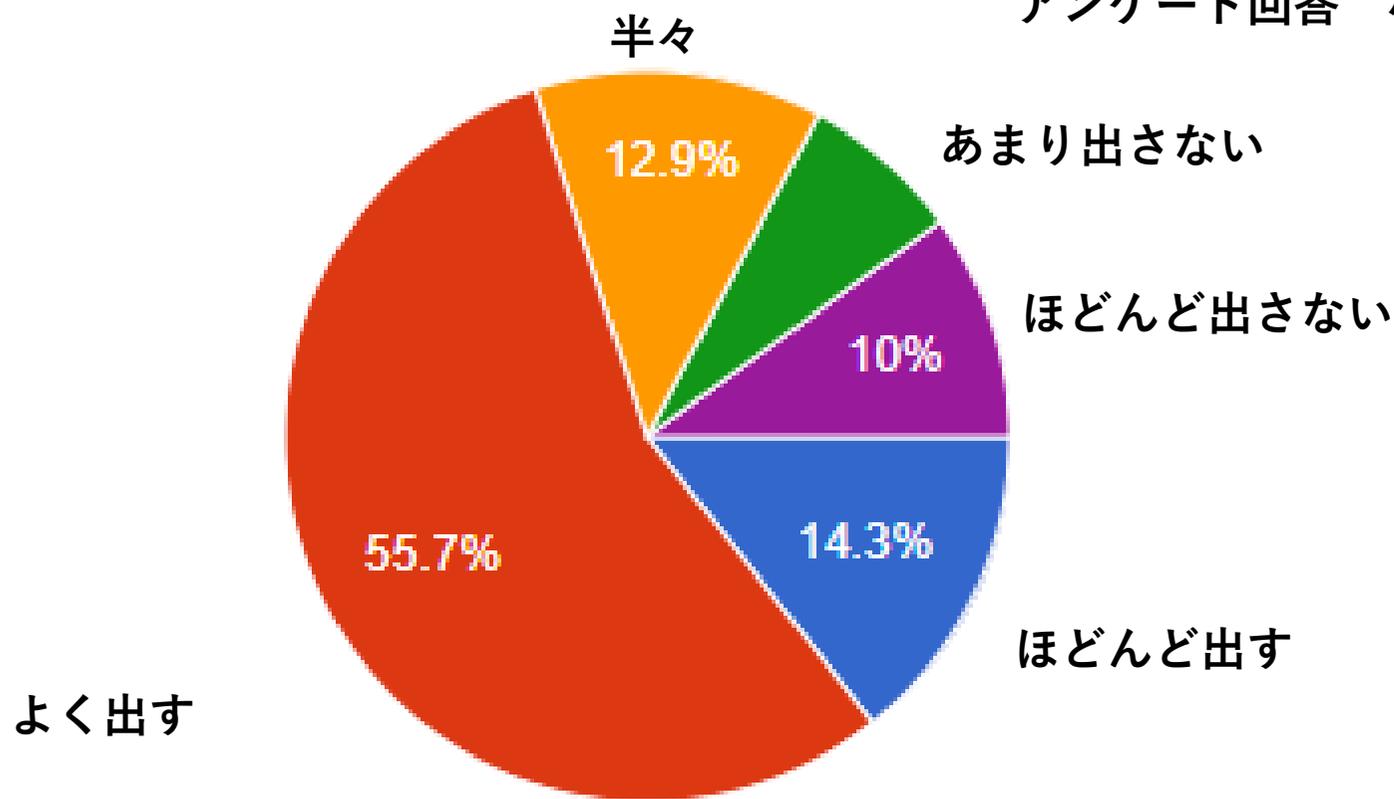
抗菌薬の処方(小児科・内科)

アンケート回答 小児科 6 2 内科 1 1



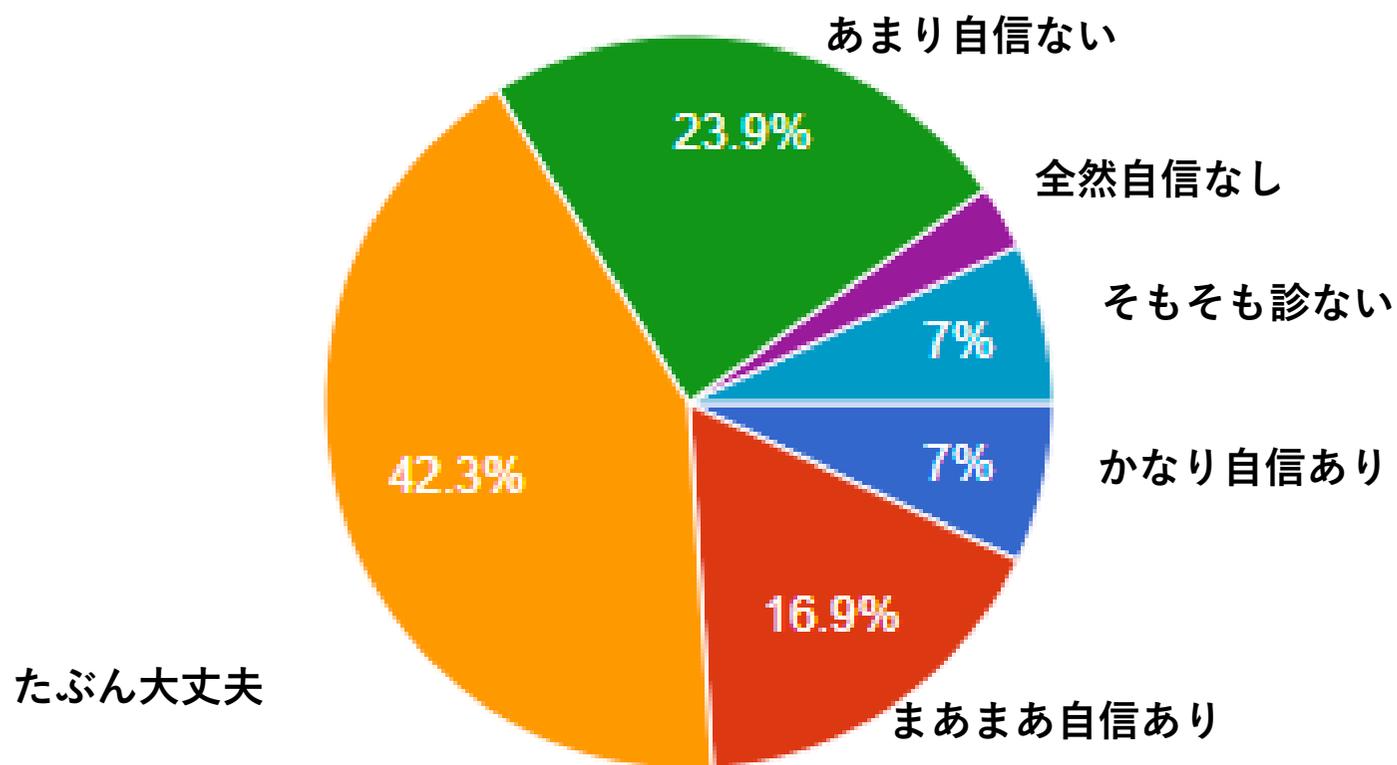
風邪薬の処方頻度(小児科・内科) (咳止め、抗ヒスタミン薬、去痰剤)

アンケート回答 小児科62 内科11



中耳炎のスキルは？(小児科・内科)

アンケート回答 小児科62 内科11



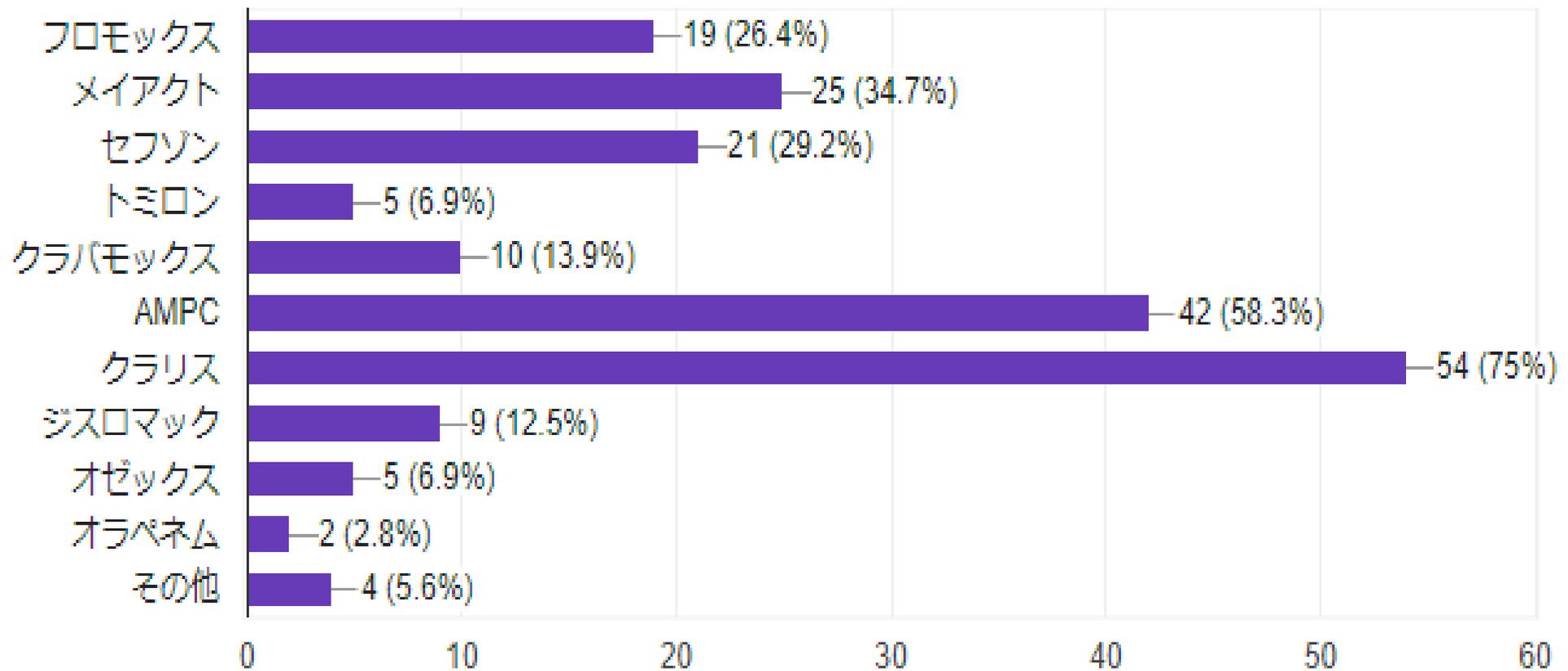
1歳、夜泣きが激しかった、熱無し



1. 何もしない
2. 鎮痛剤処方
3. 抗菌薬処方
4. 穿刺・切開
5. 耳鼻科へ

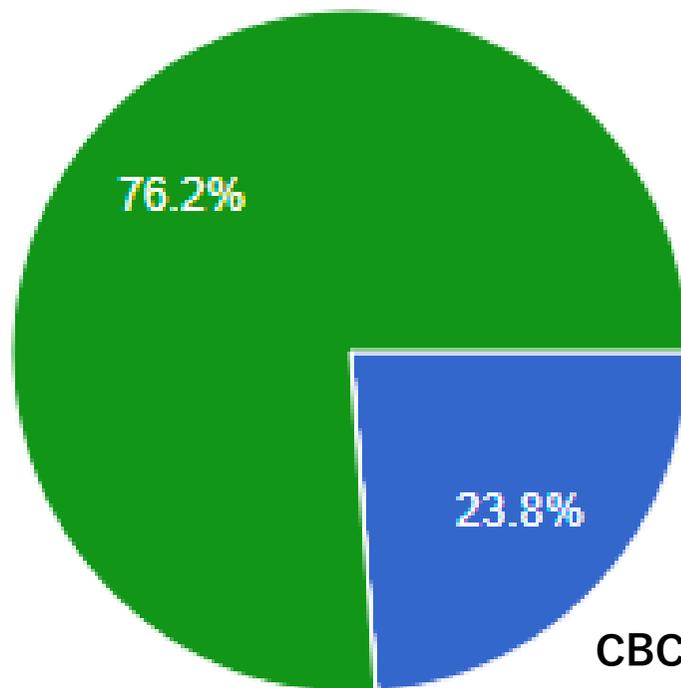
アンケート回答 小児科 6 2 内科 1 1

使用頻度の高い抗菌薬 3 つ



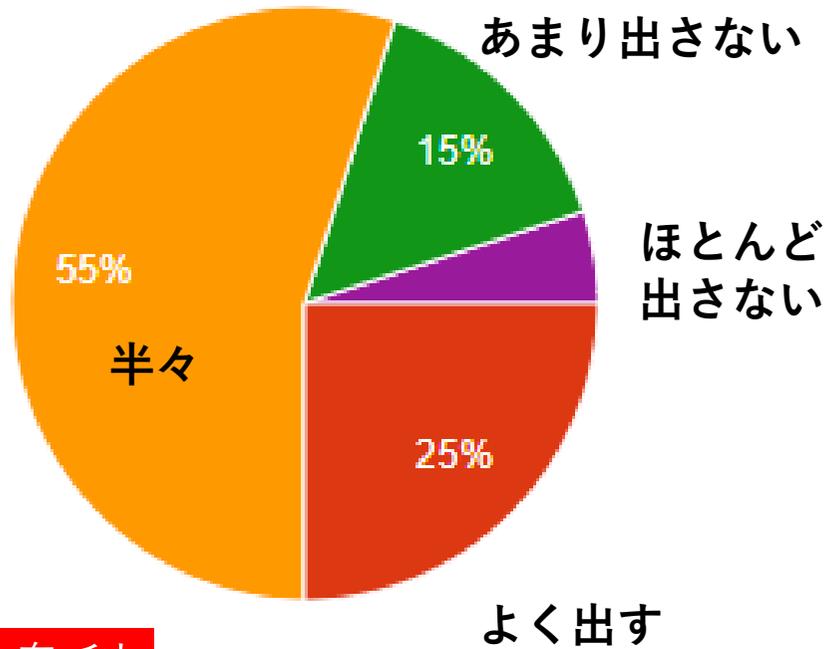
風邪診療を考える 耳鼻科版 (回答21)

CBC+CRP 持っていない

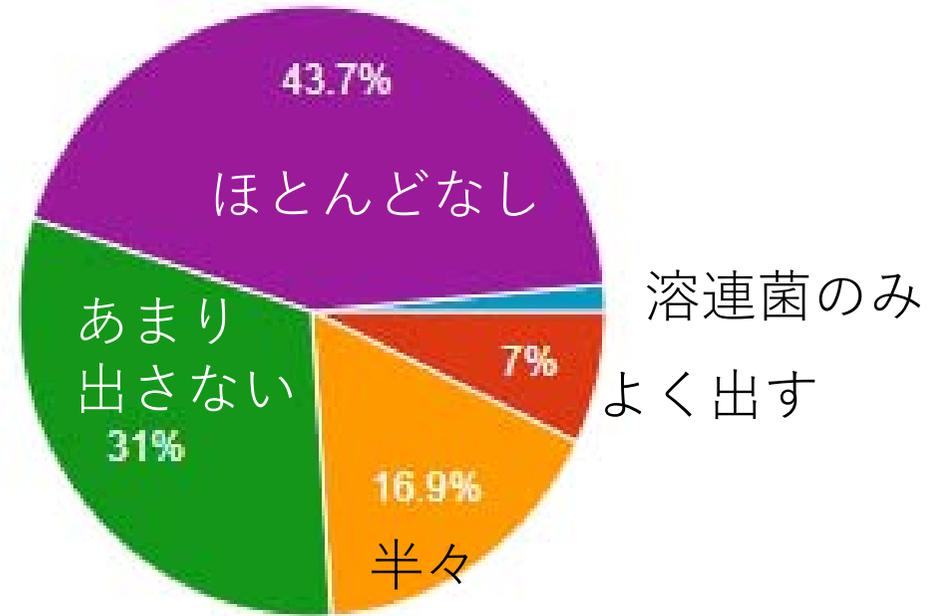


CBC+CRP 持っている

上気道炎への抗菌薬処方

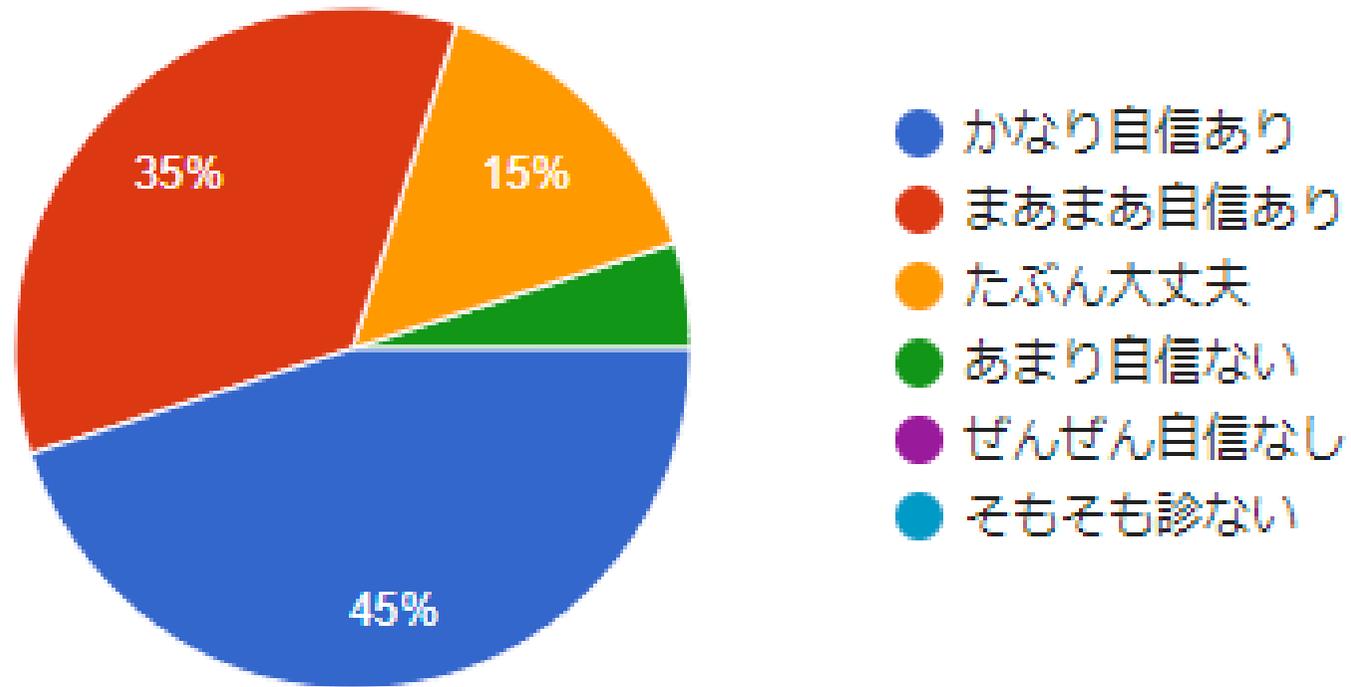


耳鼻科

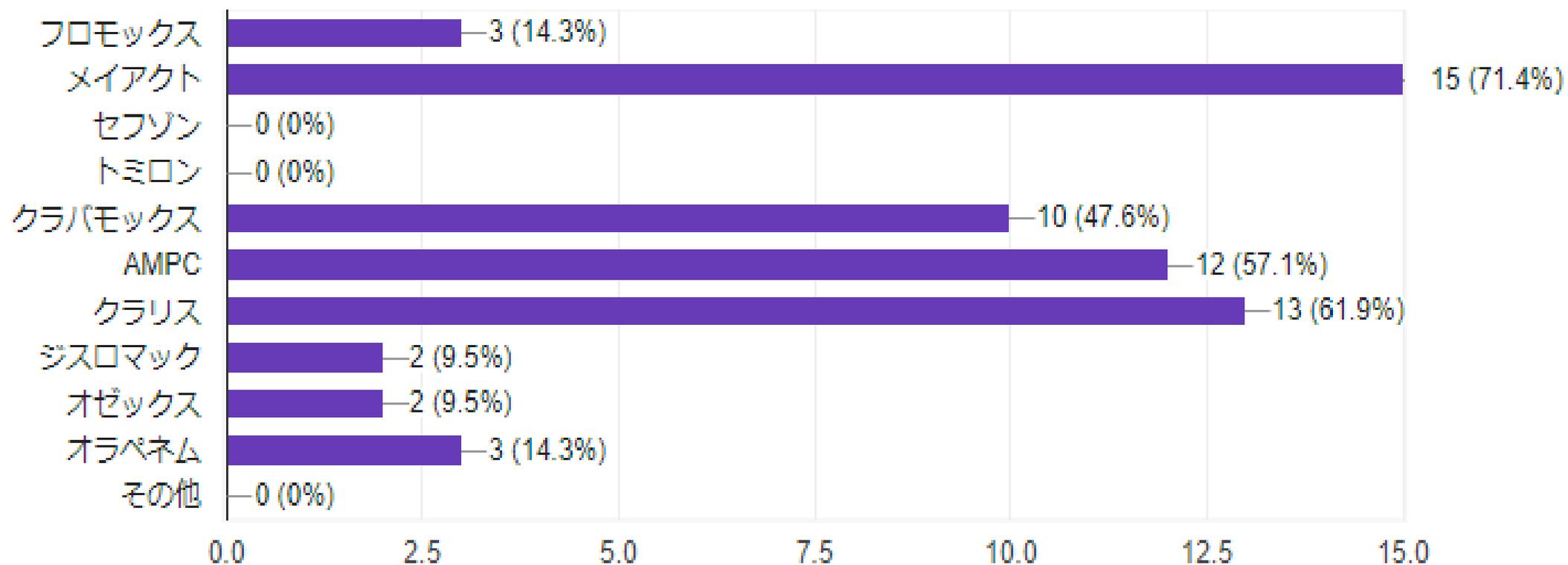


小児科・内科

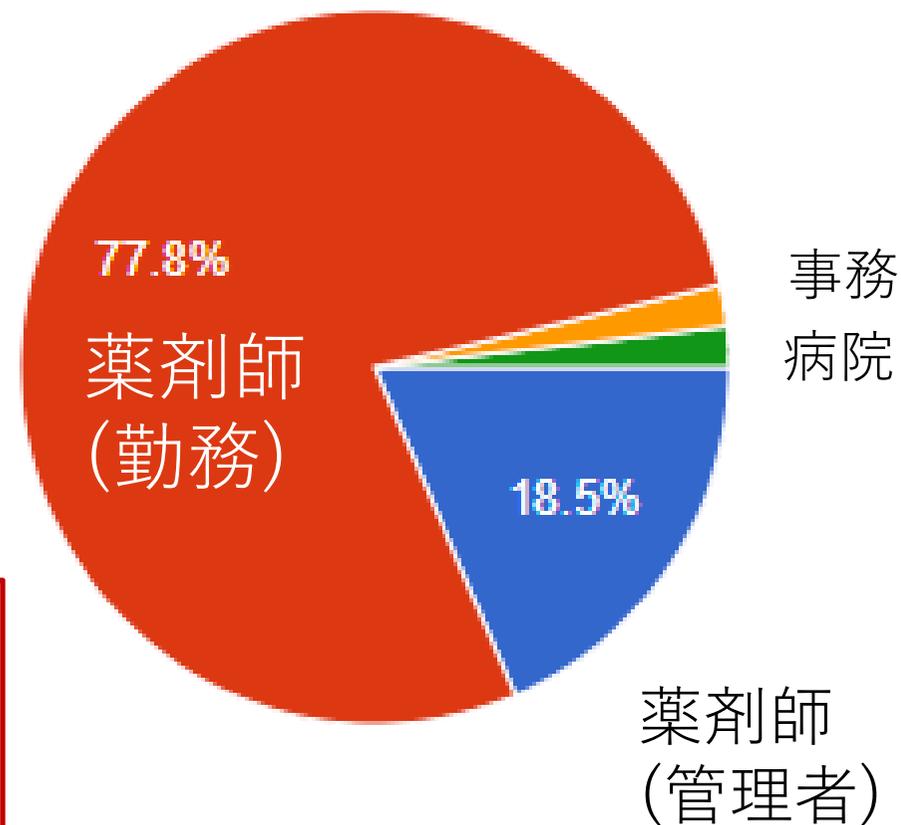
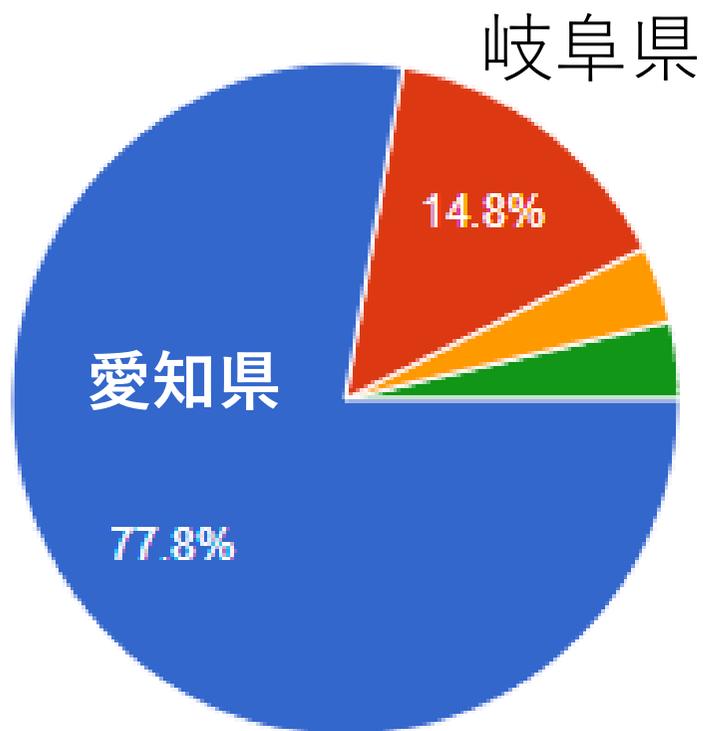
中耳炎のスキル



使用頻度の高い抗菌薬 上位3つ



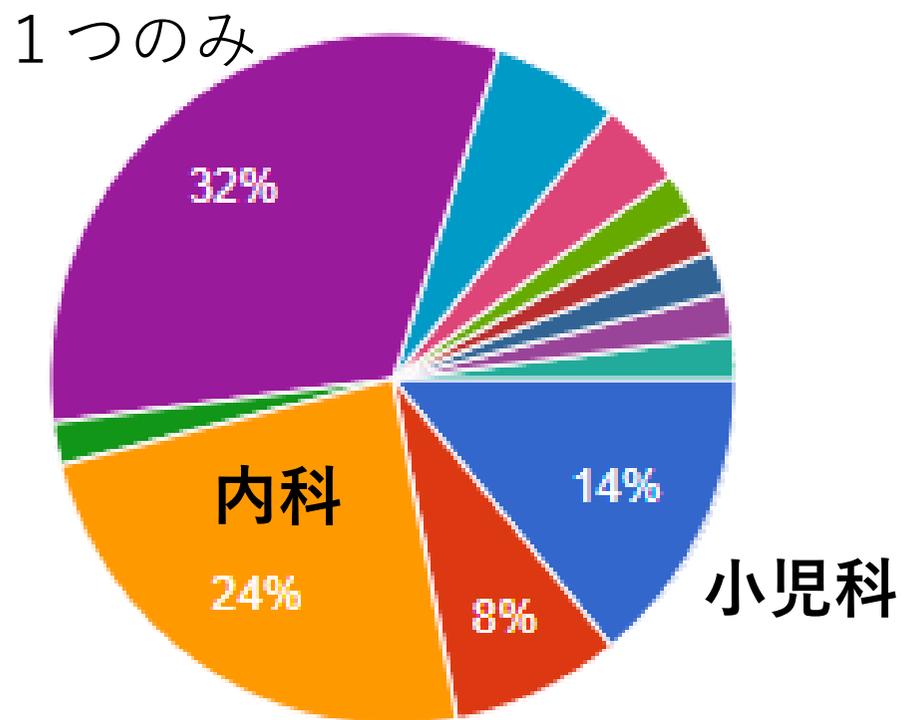
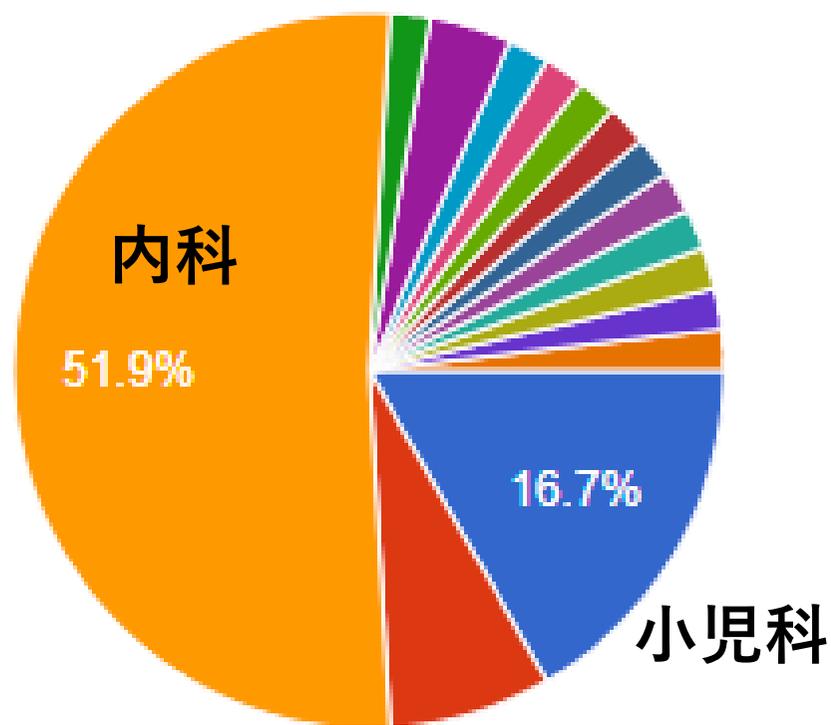
薬剤師からみた風邪診療（回答54）



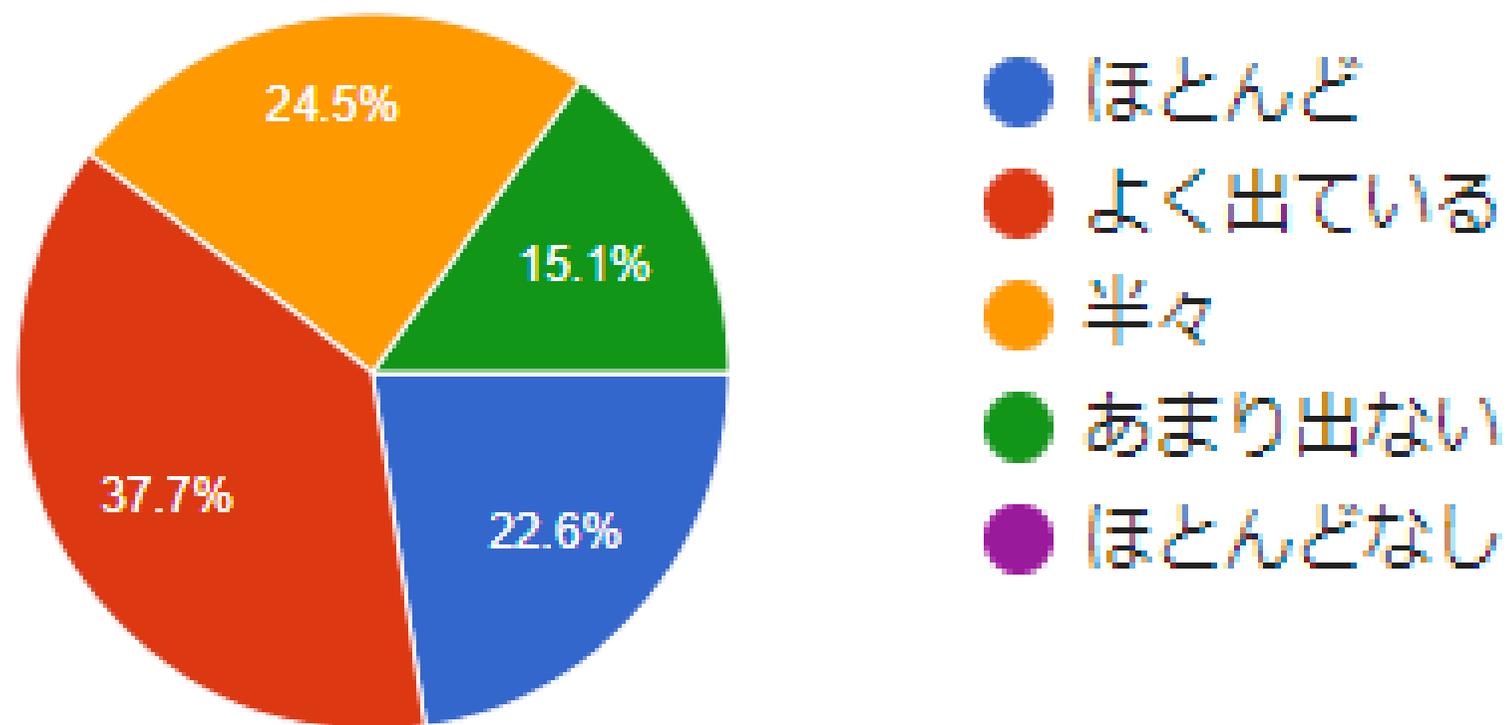
調剤経験

5年未満	4
5～10年	12
10～20年	27
20～30年	8
30年以上	3

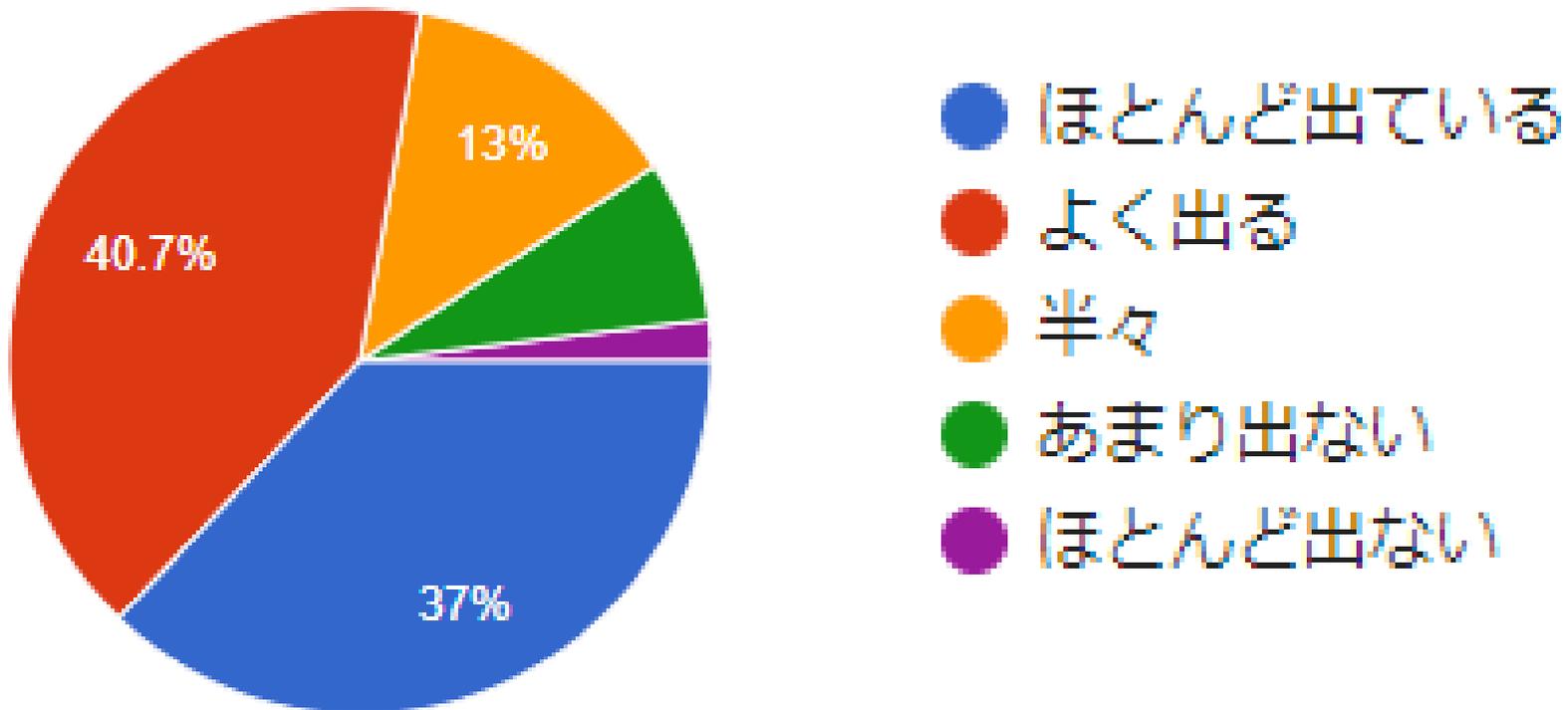
主たる調剤対象の診療科と2番手



呼吸器感染に対する抗菌薬処方



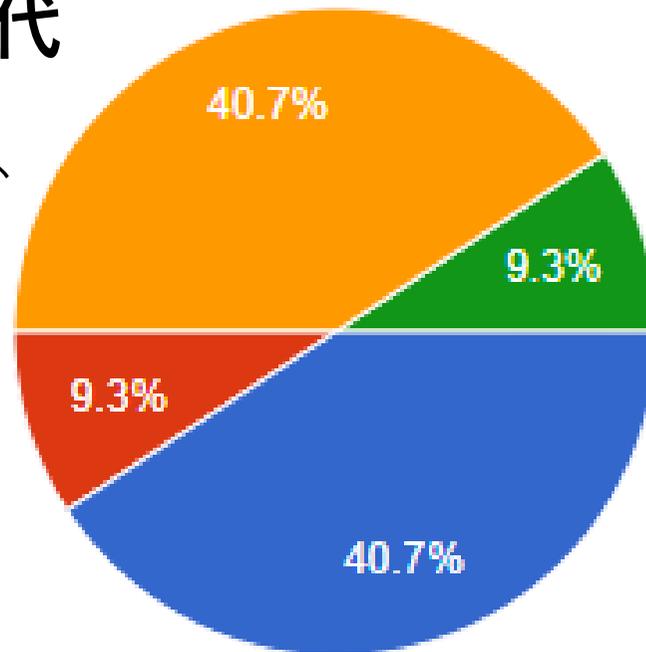
咳止めの処方率



感冒に対する抗ヒスタミン薬

第3世代

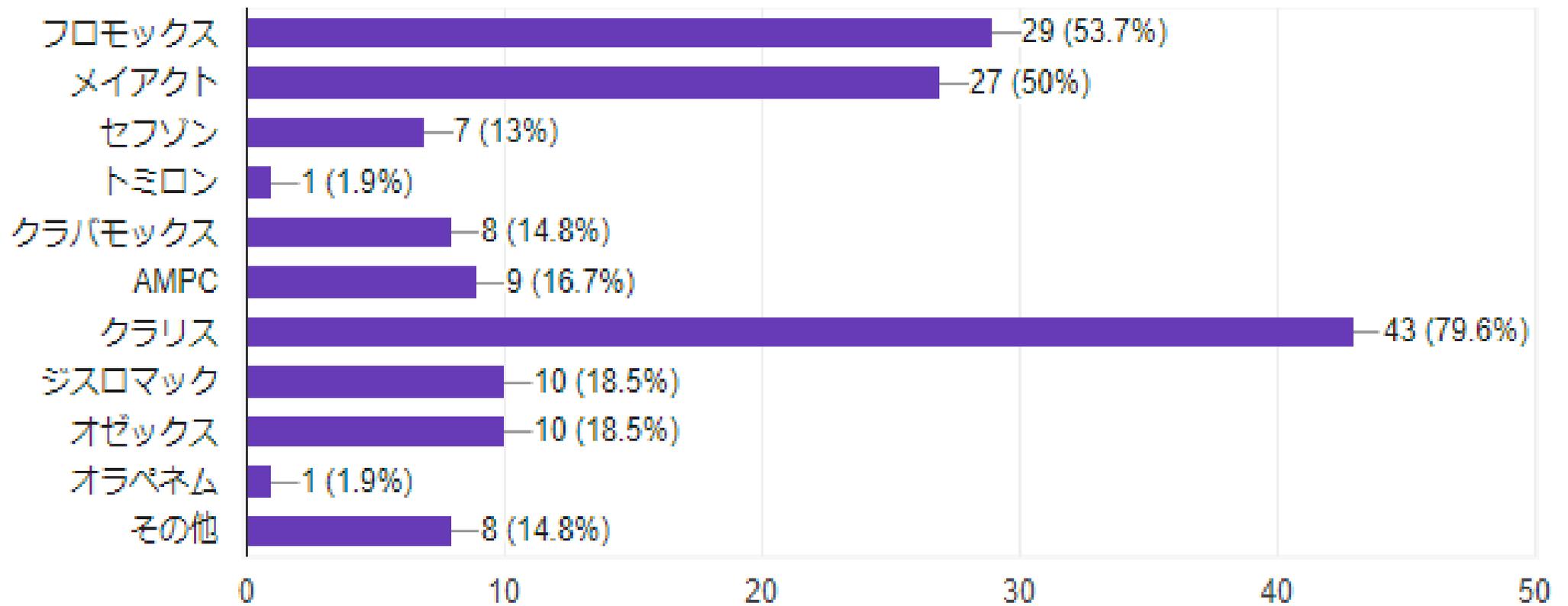
アレジオン、ジルテック、アレグラ、アレロック、クラリチン、ザイザルなど)



第1世代

(ペリアクチン、テルギンG、ポララミン、タベジールなど)

処方頻度の高い抗菌薬 3つ



Infection

平成27年度
モーニングレクチャー
2015/05/21

抗菌薬の適正使用

Control

+ 松山赤十字病院 ICT

(腎臓内科) 岡 英明

Team

吸収率の低い経口抗菌薬

	経口抗菌薬	バイオアベイラビリティ
第3世代セフェム	メイアクト [®] 、フロモックス [®] 、(セフゾン [®])	16%、不明、(25%)

カンフォード[®]感染症
治療ガイド2013

第3世代セフェムのその他の特徴として

- ・海外では殆ど使われていない = **エビデンスに乏しい**
(IDSAガイドラインでは『細菌性咽頭炎にセフェム系を**使用しないこと**』を推奨)
- ・日本では大量に誤用されている
(例: 風邪、気管支炎、咽頭炎、副鼻腔炎、歯科での予防投与)
- ・**低濃度で広域にカバー**する為、**耐性化**や**CDIの原因**になる
- ・副作用も当然ある
(重篤な副作用: **小児**での**カルニチン欠乏**による**低血糖**)

理由1. 消化管で吸収されず、「だいたいウンコになる」

「フロモックス」、「メイアクト」、「セフゾン」、「トミロン」、「バナン」などの経口第3世代セフェムは、まず、消化管での吸収が非常に悪いんです。

消化管で吸収されて血液中に入る割合を「バイオアベイラビリティ」と言いますが、経口第3世代セフェムでは、せいぜい20~30%が相場で、「メイアクト」では14%しかありません！

消化管で吸収されないのですから、経口第3世代セフェムは、飲んでも「だいたいウンコ」になるんです！！

“

「経口第3世代セフェム = だいたいうんこ (DU) 」という「DUの定理」が成り立つ

”

忽那賢志先生、[「日経メディカルAナーシング」](#)より